

水源施設が抱える課題

明治時代に始まった本市の水道事業。水源施設も建設から相当年数が経過したものが多く、老朽化のほかにも課題を抱えています。今回は、本市のダムが抱える課題について説明します。

進む年数経過

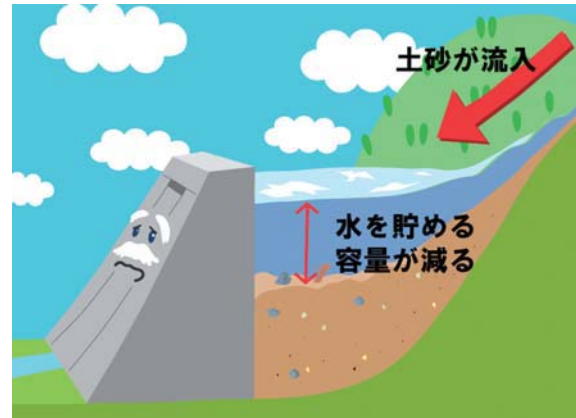
本市水道事業は給水開始から100年以上が経過しており、ダムの維持管理が課題となっています。最も古い山の田ダムは建設から104年が経過しており、転石ダムが84年、相当ダムが71年など、ほとんどのダムで年数の経過が進んでいます。

年数経過に伴う問題

ダムは河川をせき止めて作る施設です。河川の上流から流れてくるのは水ばかりでなく、年数の経過とともに土砂も堆積していきます。土砂が堆積すれば、その分だけ水を貯めることができなくなるため、ある程度土砂が堆積した段階で除去する必要があります。しかし、土砂を除去するためには一旦ダムを空にしなければなりません、本市は常に水源が不

足し余裕がないため、ダムを空にすることができず、土砂の除去作業ができない状況です。

このように、本市のダムは施設の老朽化のほかにも問題を抱えています。



※次回は、ダムの年数経過へのこれまでの対策などについて紹介します。 ④水道局経営管理課 ☎24-1151

インフルエンザ感染予防に努めましょう

日ごろからインフルエンザに感染しないように心掛けていますか？ インフルエンザは、患者の咳やくしゃみのしぶきを直接吸い込むことで感染します。咳やくしゃみをしたときに手にウイルスが付着し、その手であちこち触ると、そこを触った人に感染することもあります。インフルエンザは春先まで流行しますので、まだまだ注意が必要です。ここでは、手軽にできるインフルエンザの予防法を紹介します。

手洗い・うがいを習慣にしましょう

外出先から帰宅したときや、咳やくしゃみをしたときは、手洗い・うがいをしてウイルスを除去しましょう。

「咳エチケット」を徹底しましょう

「咳エチケット」とは、咳やくしゃみが出るときは周囲にいる人と距離を置く(2m以上)、顔をそ

むける、ハンカチやマスクなどで口を覆うなど、ウイルスを広げないように心掛ける行為のことです。感染を拡大させないために「咳エチケット」を徹底しましょう。

室内では適度な湿度を保ちましょう

空気の乾燥は呼吸器の粘膜の防御力を弱めます。適度な湿度(50%前後)はウイルスの活動を抑制すると言われていいますので、加湿器やぬらしたタオルを置くなどして部屋の湿度を保ちましょう。

インフルエンザにかかると、38度以上の高熱がある(急に熱が高くなる)、咳が出る、喉が痛む、関節が痛む、倦怠感があるなどの症状が出ます。「インフルエンザにかかったかな?」と思ったら、早めに医療機関を受診しましょう。

④健康づくり課 ☎24-1111

市政広報テレビ番組「キラっ都させば」

見直そう ご近所の絆

佐世保市の地域コミュニティ推進事業

防犯・防災活動や環境美化など、地域づくりの担い手となる町内会を中心とした活動の大切さや、活性化のための取り組みについて、朝長市長がお知らせします。



「佐世保市の食育推進事業」(1月放送)の収録の様子。市ホームページで閲覧できます

2月放送のクイズ当選者プレゼント

海軍さんの入港ぜんざい&ビーフシチュー
(1,100円相当)を5人に!



海軍料理ビーフシチューと、入港前夜に食されていたぜんざい。おいしい佐世保グルメをセットでプレゼントします。

④させば四季彩館 ☎30-7744

④秘書課 ☎24-1111

放送予定日	放送時間(放送局)
2月 2日(土)	9:25(NBC)、11:40(KTN)
2月 9日(土)	9:25(NIB)、11:40(NCC)
2月16日(土)	9:25(NBC)、11:40(KTN)
2月23日(土)	9:25(NIB)、11:40(NCC)
毎週日曜	18:55(テレビ佐世保)

プレゼント応募方法 はがきかEメールに、①番組で出題したクイズの答え②ご覧になった放送局③番組の感想④住所⑤氏名⑥年齢⑦電話番号を書いて広報係(あて先は18ページ下部)へ。2月27日(水)必着 ※応募は1人1通。正解者の中から抽選し、発表は発送(3月中旬)をもって代えさせていただきます。

【12月放送の答え=B 応募数=53通】

平成25年春季全国火災予防運動の実施

3月1日④から7日④まで、春季全国火災予防運動が全国一斉に始まります。春先は空気が乾燥し火災が発生しやすい時期です。日ごろから火災予防の意識を高めて火災を防ぎ、大切な命と財産を守りましょう。

全国統一防火標語

「消すまでは 出ない行かない 離れない」

重点目標

- 住宅防火対策の推進
- 放火火災・連続放火火災防止対策の推進
- 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- 製品火災の発生防止に向けた取り組みの推進
- 林野火災予防対策の推進

市内の火災発生状況(平成24年1月~12月)

火災発生件数	79件(前年比12件減)
焼損棟数	64棟(前年比11棟減)
死者数	1人(前年比3人減)
負傷者数	8人(前年比5人減)

住宅用火災警報器を必ず設置しましょう

全ての家庭で住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。左記の火災発生件数のうち51件が建物火災で、その中の約6割を住宅火災が占めています。火災を早期に発見し大切な家族の命を守るためにも、住宅用火災警報器を必ず設置しましょう。

不要になった消火器の処分にご注意を

消火器はごみとして処分できません。さびによる腐食や傷があったり、変形していたりするのは、中からの圧力に耐えられず破損する場合があります。事故防止のため、不要になった消火器は捨てたり放置したりせず、購入した販売店や専門業者に引き渡してください。

※消火器の処分に関する相談は、佐世保市消防設備士会(☎24-5385)へどうぞ。

④消防局予防課 ☎23-9256